

あとがき

わが国の乳癌に関する歴史を遡ると、江戸時代の華岡青洲(1760~1835年)にゆきつく。青洲は世界に先がけて全身麻酔薬“通仙散”を完成し、それをういて1804年に60歳女性患者の進行性乳癌の手術を行った外科医として知られている。

現在の紀の川市(和歌山県)に「華岡青洲の里・歴史館」があり、青洲が診療を行い、弟子を指導した建物がきれいに再現され、公開されている。その当時の乳癌手術が、民家の普通の部屋で行われた実態がよくわかる。現在では清潔な産院の病室で行われる分娩が、かつては妊婦の自宅に助産婦が出向いて出産を介助し、家人がわかった金だらいの湯の中で新生児が産声をあげていたということを想起すれば、青洲の行った手術時の光景がリアルに体験できる。

青洲の全身麻酔薬の開発や乳癌手術にかかわるエピソードは、和歌山が生んだ女流作家・有吉佐和子の小説「華岡青洲の妻」に詳しい。有吉のこの小説がなかったら、医学界内部はともかくとして、一般にまで青洲の名が広がるようなことにはならなかったのかもしれない。

癌 cancer という語には、もともと蟹という意味もふくまれている。ギリシア時代、カルキノスとつづられていた「癌」は、ラテン語を経由していろいろな言語の中にも伝えられてきた。もともと、漢字の癌は中国由来ではあるが…。ところで、ギリシア時代の癌は、具体的なイメージとしては進行性乳癌の原発巣が乳房に大きな腫瘍を形成し、皮膚に潰瘍や出血を随伴した状態、すなわちゴツゴツした塊状物、を見てこれを蟹の甲羅に見たてたといわれている。このために、cancer という語には星座の蟹座という意味もある。

青洲に話を戻すと、通仙散はまんだらげ(朝鮮朝顔)という植物が原料である。私自身、花として咲いているまんだらげを見た経験はないが、過日、和歌山県立医大を訪れた折にデザインにこの花が使われている校章を拝見する機会をえた。当地のまんだらげは、乳癌と因縁浅からぬ関係にあるにもかかわらず、やわらかな感じのする大柄な花卉が印象に残った。

(坂本穆彦)

バックナンバー 「今月の主題」一覧

第49巻(2005年)

- 2号 酸化ストレスマーカーと疾患・病態
- 3 私と臨床検査-先達の軌跡
- 4 脳脊髄液
- 5 マイクロアレイ技術の進歩
- 6 院内感染制御
- 7 アレルギー疾患の現況と今後の展望
- 8 これからの臨床検査技師教育を考える
- 9 キャピラリー電気泳動法
- 10 視機能
- 11 肝臓癌の臨床検査
- 12 (増刊号)臨床検査のための情報処理技術の進歩

第50巻(2006年)

- 1号 PK/PD 解析を指標とした感染症治療
- 2 花粉症克服への展望
- 3 採血
- 4 検査室におけるインシデント・アクシデント
- 5 腎疾患と臨床検査
- 6 健康食品と臨床検査
- 7 ホルモン固定パラフィン包埋標本からどこまで遺伝子検査は可能か?
- 8 皮膚科と臨床検査
- 9 高齢者の臨床検査値
- 10 認知症の動的神経病理
- 11 海外旅行と臨床検査
- 12 (増刊号)ナノテクノロジーとバイオセンサ
- 13 臨床検査史—国際的な流れとわが国の動向

〔バックナンバーのお取り扱い〕

第50巻第1号以降は医学書院販売部がお取り扱いします。それ以前のものは(株)東亜ブック(東京都豊島区池袋4-13-4、電話 03-3985-4701、FAX03-3985-4703 <http://www.toabook.com/>)がお取り扱いします。

臨床検査 (第51巻第1号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

2007年1月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

2007年年度予約購読料 25,980 円(送料弊社負担・増刊号を含む13冊)

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5712

ファクシミリ (03) 3815-7802/3815-7982

E-mail: rinshokensa@igaku-shoin.co.jp

担当 柴崎・福田・小松原

印刷所 三美印刷(株) ☎ (03) 3803-3131

広告申込所 (株)東広社 ☎ (03) 3409-8803

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.
・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
・ JCLIS 〈(株)日本著作出版権管理システム委託出版物〉
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。
・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
「臨床検査」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinshokensa/>